

平成29年10月22日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦フレンズ 対 奈多クラブ戦  
2年連続WSLを制覇した奈多クラブ今林辰也監督の胴上げ。

写真：三友クラブ 大坪 和則

**青松園B 奈多サンデーズ古賀風太選手が投打に活躍し、大逆転勝利！**

三苦ホーネッツ（10勝2敗）0000201 3 川原●-広木

奈多サンデーズ（5勝6敗1分）000004× 4 古賀○-田中

3BH：隈崎（三苦ホ）

今季優勝するにはもう1敗もできないホーネッツと、五割を目指す奈多サンデーズとの一戦。奈多サンデーズの先発は右の本格派古賀投手。ホーネッツは躍動感あふれるフォームが特徴の川原投手の先発で試合開始。初回サンデーズ古賀投手は、2安打されるも後続のクリーンナップを抑え無失点で抑え上々の立ち上がり。この後古賀投手は四球や単打でランナーを出すも、随所に力のあるボールが決まり四回まで強力ホーネッツ打線は無失点に抑える。一方川原投手の立ち上りは、内野ゴロ2つに三振と完璧な立ち上がり。この後川原投手は五回まで奈多サンデーズ打線を単打2本とほぼ完璧に封じる。試合が動いた五回表、ホーネッツ一番井手選手が四球、二番川原選手がバスターで内野の間を抜くと、このボールをグラウンド状態が悪いレフトも捕球できず、一塁ランナー井手選手が一気にホームイン。更にWPでホーネッツが2点を先制した。このまま終わるかと思われたが、ここからドラマが待っていた。六回裏奈多サンデーズ先頭の江口選手、長濱選手が連打。一死から五番宮口選手が続き満塁。ここで本日最も川原投手に合っていた古賀選手がライト前タイムリー！これをライトが痛恨の後逸で古賀選手は一気にホームインで2-4と逆転。打った古賀選手を褒めるべきだろうが、この回エラーがあったに

しろホーネッツバッテリーは少し単調な攻めになっていたように感じた。七回表ホーネッツ最後の攻撃、先頭の井手選手が本日四出塁目となる四球で歩き、一番バッターの役割をしっかりとこなした。続く二番川原選手が三球目を捉えるも最悪の遊ゴロゲッター。芯で捉えていた分、俊足の川原選手でも間に合わなかった。奈多サンデーズ遊撃手の長濱選手が巧かった。その後は、四球とエラーで1点差とするも後続が続けず奈多サンデーズが逆転勝利を飾った。両投手ともにテンポが良く守備もある程度締まっていた、観ていて気持ちの良い試合だった。

(記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬)



奈多サンデーズ先発古賀投手。



三苫ホーネッツ先発川原投手。



本日4出塁のホーネッツ一番井手選手の高速スラップ。



レフトオーバー三塁打を放ったホーネッツ隈崎選手。



先制点に繋がるホーネッツ二番川原選手のバスター。



先制点で歓喜するホーネッツベンチ。





逆転の口火を切るサンデーズ三番江口選手。



試合を決める一打を放つサンデーズ六番古賀選手。



クロスプレー！間一髪セーフで4点目のホームイン！



逆転の一打に歓喜する奈多サンデーズベンチ。



最終回、攻守備で1人で3アウトを取った長濱遊撃手。

### 奈多グラウンド 奈多クラブ 全勝優勝・・・とはならずもリーグ戦連覇

三苦フレンズ（9勝2敗1分）0001020 3 山口ー佐藤（由）  
 奈多クラブ（12勝1分）0002100 3 今林（瑠）ー安河内

HR：生野（拓）（三苦フ）住田（奈多ク） 2BH：山口2（三苦フ）

大型台風が接近し天候が不安される中、決死の大一番が開催された。リーグ優勝に大手をかけている奈多クラブ。この試合引き分け以上で優勝が決定。しかし相手は優勝争いを行ってきた強豪三苦フレンズ。目前での胴上



げを阻止したいところ。フレンズ山口、奈多クラブ今林（瑠）の両好投手の先発で試合開始。両投手二回までは完璧な投球。三回表、フレンズの寺山選手が両チーム通じての初ヒットを放つも、後続が続かず無得点。その裏、奈多クラブも相手エラーで出塁するも得点ならず。試合が動いたのは四回表、フレンズ三番の生野（拓）選手が放った打球は左中間への大きな打球。奈多クラブのセンター住田選手が追いつくかと思われたが、ラインドライブがかかっており、わずかに届かず本塁打。フレンズが先制点を奪う。『今日、優勝を決める』と意気込みを見せる奈多クラブはすぐさま反撃へ。四回裏、一番打者の今林（祐）選手が、チーム初ヒットの内野安打で出塁。二番の今林（賢）選手が送りバントを試みるも失敗。続く今林（瑠）選手が死球、四番馬場口選手が放った打球は右中間へ。しかし、フレンズ寺山選手が右中間より守っており、中継プレーでホームクロスプレー。が、走者今林（祐）の好走塁により同点。その後山口投手のWPで1点追加し逆転に成功。五回裏、この回の先頭の七番住田選手が深く守るセンターを超え、土手直撃の特大本塁打で1点追加し3-1。このまま引き下がれないフレンズ。こちらもすぐさま反撃する。六回表二死後、四番佐藤（由）選手が四球で出塁。続く五番山口投手はレフト前ヒット。しかしこの打球をレフトが処理を焦り後逸。打者の山口選手までホームへ帰還し、思わぬ形で同点へ。最終七回表、勝ち越したいフレンズは一死後、九番篠原選手が一塁強襲ヒットで出塁すると、一番吉村（雄）選手がレフト前へヒットを放ち後続へ望みをつなぐも、後続が倒れてしまい、ここまで。奈多クラブの優勝が決まった。勝利で優勝を決めたい奈多クラブ。一死後、安河内選手が四球を選ぶと、次打者は前打席に特大本塁打を放った住田選手。期待の打席であったが、ここはフレンズ山口投手。そんな簡単に打たせてはくれない。空振り三振に終わる。続く代打久保選手も三振に終わり、試合終了。3-3の引き分けとなったが、奈多クラブは2年連続優勝。両投手とも四回の攻撃中にアクシデントが発生し、完璧な投球ではなかったようだが、山口投手95球・今林（瑠）投手97球、すべてが見逃せない一球であった。お互いのピッチングがこの好ゲームを生んだといっても過言ではない。試合終了後、「全勝優勝したかったなあ・・・。」と本音を呟いた今林達也監督。「優勝できたのは選手全員の頑張りがあってこそ、ありがとう。」とコメントを付け加えて車に乗り込んでいった。奈多クラブの皆さん、優勝おめでとうございます。（記事：三友クラブ 山本 健一、写真：大坪 和則）



熱戦を予感させる試合前の挨拶。



三苦フレンズ先発の山口投手。



両チーム初ヒットのフレンズ寺山選手。



先制本塁打で山口投手に迎えられる生野拓磨選手。





奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



安打を放つもこの時に足を痛めるフレンズ山口選手。



奈多クラブ初ヒットの今林祐将選手の内野安打。



表情は隠れていますが死球に痛がる今林瑠生選手。



奈多クラブ今林祐将選手、決死の同点スライディング。



同点打を放った奈多クラブ四番の馬場口選手。



特大本塁打の住田選手を笑顔で迎える奈多クラブベンチ。



ファインプレーの寺山選手だが、指を負傷し途中交代となる。





優勝が決まり、笑顔の今林辰也監督。



奈多クラブナインの今林辰也監督胴上げ。



平成29年度WSLチャンピオン、奈多クラブ

### 青松園A 初回から猛攻撃、さらにベテラン有馬投手のノーヒットピッチングにて勝利！！

塩浜ジャガーズ（1勝12敗）000000 0 立石●、道喜一橋村

雁の巣ライナーズ（7勝5敗）80200× 10 有馬○ー明瀬（航）

HR：明瀬（旭）（雁の巣） 盗塁：明瀬（航）（雁の巣）

台風接近に伴い雨も予測された曇り空の中、塩浜ジャガーズは最終戦、残り2試合の雁の巣ライナーズとの対戦。一回表塩浜ジャガーズは、若手を一～三番まで揃える打線で先制点を狙うも三者凡退。一方の雁の巣ライナーズは、足のある一番明瀬（旭）選手の内野安打にエラーも絡み二塁へ。一死後、立ち上がりの制球に苦しむ立石投手のWPで三塁へすすむと、三番中口選手は四球。続く四番宇野選手の打席でWP、果敢にホームへ突入する明瀬（旭）選手だがタッチアウト。しかし宇野選手が四球を選ぶと、五番久保田選手のライト前タイムリーで1点目、さらに明瀬（航）選手がセンター前、有馬選手もレフト前、池内選手レフト前ヒットの3連打で5得点！さらに打者一巡にて迎える一番明瀬（旭）選手がここぞとばかりに、フルスイングで3ランHRを叩き出し、計8点をもぎとる。三回裏にも2点を加え、四回終了時は10-0とコールドゲーム寸前。何とか一矢報いたいジ



ジャガーズだが、有馬投手の前に四球の出塁のみ。迎えた最終回一死後、代打攻勢にて仕掛け、最後は「代打俺！」水流監督が登場！！しかし、全盛期のバッティングは見られず、試合終了。塩浜ジャガーズは下位で終わるチームでもないのだが、今期は両エースが打ち込まれ、また若手の元気な打線が振るわず終えた形となった。一方の雁の巣ライナーズは、ベテラン有馬投手の安定したピッチング、打線も安定しており、もっともっと上位を脅かして欲しいチームであることは間違いない。(記事・写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝)



初回先制打！ライナーズ五番久保田選手！



一回裏、明瀬 旭選手の3ランHR！



一回裏、怒涛の攻撃にてホームイン。



二回表、ジャガーズ田沼選手「抜けてくれ〜」



三回裏、宇野選手の Powerful なホームラン性の打球！



四回表、こちらもあわやホームラン！立石選手！





四回裏、ライナズ岩崎監督「代打俺！」



五回表 続いてジャガーズ水流監督「代打俺！」



本日のヒーロー！有馬投手、明瀬旭選手、岩崎監督。

**雁レク7 奈多フェニックス対ソルトベ이스ターズ戦は、ソルトベ이스ターズの不戦敗です。**

## 第23週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第23週、10月22日は3試合が行われました。

青松園Bの三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ戦は、優勝に向け初回から塁を賑わす二位ホーネッツ打線に対し、サンデーズ古賀風太投手が凌ぐ展開が四回まで続く。五回表、ホーネッツは一番からの好打順でサンデーズ守備の乱れに乗じて2点を先制する。しかし、四回から徐々に塁を賑わせ出したサンデーズは六回裏一死満塁から六番古賀選手の右前タイムリーにエラーが加わり大逆転。最終回ホーネッツの反撃を1点で凌ぎ、ホーネッツの逆転優勝の夢をサンデーズが拒んだ。二回り目からホーネッツ川原投手を捉えだしたサンデーズの対応力が勝利を呼び込んだ。



奈多グラウンドの三苦フレンズ対奈多クラブ戦は、今シーズン大躍進のフレンズに対し、自力優勝に向けて強い意気込みの奈多クラブ。フレンズ生野拓磨選手のHRに対し奈多クラブも住田選手のHRで応酬。奈多クラブ3安打、フレンズ7安打も3-3のドロー。この瞬間、奈多クラブの2年連続優勝が決まった。奈多クラブは豪打のイメージが強いが、この試合に象徴されるように、少ないチャンスを確実にモノにしていく強さが連覇を支えたと言っても過言ではない。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対雁の巣ライナース戦は、ライナース打線が初回から大爆発の計10得点。明瀬兄弟の兄・旭選手が3ランを含む2打数2安打、弟・航選手が3打数3安打。投げてはライナース有馬投手がノーヒッターを達成。0-10でライナースの勝利。WSL唯一の女性プレイヤー、塩浜ジャガーズ遠藤望選手は2塁手としてFP出場にとどまった。

せっかくなのでWSL編集部は遠藤選手を来年度も追っかけていきたいと思います。各審判チームの編集部員の方は写真もお願いします。

雁レク7の奈多フェニックス対ソルトベイスターズ戦は、ソルトベイスターズの人員不足による不戦敗（勝ち点-2）となりました。

平成29年度の優勝は奈多クラブとなりました。おめでとうございます。

ただまだ試合が残っているチームがあり、順位が気になるところ。

消化試合なんて言わずに、しっかり最後まで戦いましょう。

プロ野球は福岡ソフトバンクホークス対横浜DeNAベイスターズの日本シリーズが開幕し、ホークスが2連勝。

このまま優勝してもらいたい！